

平成30年度事業計画

I はじめに

平成29年度の国内経済は緩やかな回復が続き、全国のシルバー人材センター事業も集約すると、契約金額は減少することなく推移しています。一方、会員数は微減となり、伸び悩みが懸念されています。

新潟県内のセンターは一様ではありませんが、県連合全体では請負・委任の契約金額が減少しており、会員数においても退会数が入会数を上回っています。

小千谷市シルバー人材センターの契約状況も、請負・委任契約は減少し、派遣契約には伸びが見られますが、合算するとやや減少しています。会員数は減少傾向にありましたがやや増加傾向にあります。

近年、少子高齢化が急速に進展し労働力人口の減少が著しい中、シルバー人材センターには、働く意欲のある高齢者に就業機会を提供するなど「居場所」と「出番」を創出し、生きがいの充実や社会参加を促進して地域社会の活性化に寄与することへの期待が高まっています。

平成30年度は新しくスタートする「第3次中期計画(平成30年度～34年度)」の初年度にあたります。これらを踏まえながら当センターは次の三点に重きを置きます。

一点目は、就業機会の拡大です。例年取り組む重点事項になってはいますが、契約金額が全国で増加している反面、新潟県全体及び当センターも減少している状況を踏まえ、地域経済の動向などを勘案し、一層の取り組みが必要です。

また、国は全国的に人手不足が課題となっている分野へのシルバー人材センター会員による就業を促しており、当センターもそれらの分野のうち、福祉・家事援助サービス、介護予防・日常生活支援などに取り組み、就業機会の拡大を進めます。

二点目は、会員の拡大です。国内人口が減少し、会員数も全国的に減少傾向のため重点から外すことはできません。働く意欲のある高齢者に一人でも多く会員として入会していただき、就業していただくことがシルバー人材センターの使命でありますので、会員拡大に向けて役員、会員、事務局が協力して取り組んでいかなければなりません。合わせて技術的な作業に対応できる人材を講習などにより養成し、受注の拡大に繋がります。

今後は地域人口の減少に伴う高齢者数の減少とともに、会員の高齢化などの課題も出てまいります。これらを見据えた会員の確保や就業機会の提供のありかたなどについて、検討が必要な時期にきています。

三点目は、研修の実施です。会員にはマナー研修やドライビング研修、役員

は県連合会開催の研修へ参加するなど、取り組みを進めています。

発注者も会員もお互い気持よく接して仕事をするのが大切であり、また、良い印象は受注の継続や拡大につながると思われることからマナーや安全に関する研修を継続し、全体のレベルアップを図りたいと考えます。

以上のような事項を踏まえ、当センターの平成30年度収支予算については、経常収益計が1億7,159万6千円で前年度当初予算と比較し1,296万7千円の減、経常費用計が1億7,271万円9千円で前年度当初予算と比較し1,348万1千円の減、当期経常増減額は112万3千円の減であります。前年度と比較して受託事業が減少する見込みなどによるものです。

当センターは、基本理念である「自主・自立・共働・共助」を堅持し、関係各位のご支援、ご協力をいただきながら、高齢者並びに地域社会の期待に応えられるよう、「生きがいと地域のニーズを結ぶ」事業の推進に取り組んでまいります。

II 基本方針（第3次中期計画 平成30年度～34年度）

1. 会員（人材）の増強と育成
2. 就業機会の拡大と技術力の向上
3. 安全・適正就業の推進
4. 運営体制の充実と強化

III 個別事業計画

【総務委員会】

健康で働く意欲のある高齢市民が一人でも多く「社会の担い手」となり地域で活動ができるよう、またシルバー人材センター事業の意義を広く市民に周知すべく以下のことを実施する。

1 会員の増強と融和推進

①会員入会の促進

- ・入会説明会を、毎月1回（主に第3水曜日「サンラックおぢや」にて）行う。
- ・会員による新規入会者の勧誘活動を推奨し、会員が集う機会のほか必要に応じさまざまな機会に協力を呼びかける。
- ・新規入会者増の取り組みについて検討を行う。

②会員親睦機会確保の促進

- ・シルバー人材センターにおける就業やボランティアなどの地域社会貢献に意欲的に参加しやすくするため、会員同士の親睦活動に協力する。

③会員の資質向上の促進

- ・必要に応じ検討およびシルバー人材センターに協力する。

2 地域社会への貢献

① ボランティアによる美化活動の実施

- ・ 公共施設を会場とし、各委員会、地域班長等に協力を求めながら、多くの会員有志の参加を呼び掛け実施する。

3 小千谷市が行う高齢者福祉事業等への協力

① おぢや健康福祉まつりに参加

- ・ 各委員会及びサークル等に協力を願い、シルバー人材センターのPRコーナーを運営する。

【安全・就業委員会】

1 入会者に対する安全就業指導

- ・ 安全就業の重要性を説明する。
- ・ 就業に際しての安全確認、往復時の交通事故防止を呼び掛ける。

2 受注前安全確認の実施

- ・ 事務局職員、就業予定会員等において受注前に実施する。

3 安全講習の実施

- ・ 交通事故防止講習を実施する。
- ・ 会員の集会時にあわせて、必要に応じた講習会（安全、マナー）を開催する。

4 安全就業強化月間の実施

- ・ 全国にあわせ7月に実施する。
- ・ 会員全員に安全就業啓発品を配付する。

5 就業現場の巡回指導

- ・ 随時実施する。
- ・ 新潟県シルバー人材センター連合会と合同で他センターへの巡回指導を実施する。

6 事故防止の徹底

- ・ 事故発生状況の周知をする。
- ・ 事故発生状況の検討をする。
- ・ 事務局での掲示などで会員への周知を図る。
- ・ グループ就業の場での就業前ミーティング等を重要視し、安全就業に対する意識の向上を促す。
- ・ 各種会議等において安全就業の重要性を呼び掛ける。
- ・ 安全具着用と作業用カラーコーンの活用を推進する。
- ・ 用具からの転落防止、傾斜地等作業時の事故防止の徹底を促す。
- ・ 車輦内に安全運転を促す工夫をする。
- ・ 資料や広報誌を活用し、事故防止を促す。

7 作業用具類の管理

- ・ 作業機械器具類、安全保護具などの定期点検、整理整頓を強化する。

- 8 自動車の点検
 - ・ 運転前後の確認を促す。
 - ・ 定期的に点検、整理を実施する。
 - ・ 運転日誌の確認をする。
- 9 その他
 - ・ 県連合等が主催の研修会へ出席する。
 - ・ ドライビングスクールへ参加する。
 - ・ 必要に応じて先進センター視察研修を実施する。
 - ・ 救急用品携帯を推進する。

【広報委員会】

- 1 事業の啓発活動等の計画立案及び宣伝
 - ・ センターの会報誌、パンフレットおよびホームページ等を有効活用し、普及啓発に努める。
 - ・ 小千谷市等が開催する各種イベントへ参加し、広報活動に努める。
 - ・ 必要に応じて市の広報誌や地域紙等に取材、情報掲載を依頼する。
- 2 会報の企画、編集
 - ・ 年2回、会報誌「ぱわすこ小千谷」を編集発行して、センター会員、関係機関、各種企業・団体等へ配布することにより、センターの組織や事業活動についての情報提供、センターの普及啓発等に努める。
 - ・ 見やすく、親しみのある会報誌の発行を目指す。
- 3 事業啓発用パンフレット等の編集
 - ・ 既存の掲示物やパンフレット等の編集を行い、引き続きセンターのPRに努める。
 - ・ センターの事業に応じた掲示物やパンフレット等の作成や編集を検討する。
- 4 ホームページの管理運営
 - ・ 利用頻度を高めるために、内容の充実、最新情報の更新を図り、センターのPRに努める。

【理事会及び事務局】

- 1 公益社団法人としての機能強化への取り組み
 - ・ 理事の研修を行い、理事会の機能強化を図る。
 - ・ 会員の研修を行い、職群班、地域班の強化を図る。
 - ・ 全体的に交通安全や接遇・マナーに関する研修を行い、資質の向上を図る。
 - ・ 事務局職員の企画力・事務能力向上を図る。
- 2 財政基盤の確立、経営効率化への取り組み
 - ・ 自主財源の確保に努めるとともに、派遣実績などに基づいて算定さ

れる補助金を適切に判断し、堅実な財政基盤を確立する。

- ・事務の効率化を進めるとともに、印刷物の内製化、用紙の再利用などを進め経費削減に努める。

3 情報の提供

- ・関係機関の印刷物や当センターのチラシを活用して情報を広く提供し、会員拡大や適正就業を推進するとともに、事故の防止などを図る。

【参考】 平成30年度目標値

会員数	粗入会率	受注件数	就業延日数	契約金額	就業率
408人	2.8%	2,399件	33,799人日	175,749千円	99.4%

※ 表中の数値は、請負等に係る当センター事業の数値と県連合会実施の派遣事業を合計したものです。

※ 粗入会率は当市の60歳以上の人口に占める会員数の割合です。

※ 就業率は年度内就業者数÷年度末会員数で示したものです。